

第4次大阪府子ども読書活動推進計画（仮称）策定のための調査について

1 調査目的

「第4次大阪府子ども読書活動推進計画（仮称）」策定にあたり、子ども・保護者の読書に対する意識や習慣、府内の学校や市町村図書館等における子どもの読書活動推進の取組み状況等のうち、全国学力・学習状況調査等の既存調査では把握できない項目を調査し、課題の把握・分析を行う。

2 調査対象

児童・生徒・保護者については、対象が多数となるため抽出調査とする。対象学年は翌年度の全国学力・学習状況調査（4月実施）と同一学年となるよう、また、受験等への負担を考慮し、下記の学年とする。

学校・図書館については、悉皆調査とする。

- ① 児童生徒【抽出調査】（小学5年生・中学2年生・高校2年生）
- ② 保護者【抽出調査】（①の児童生徒の保護者）
- ③ 小・中・高・支援学校【悉皆調査】
- ④ 幼稚園・保育所・認定こども園等【悉皆調査】
- ⑤ 公立図書館（図書室）【悉皆調査】
- ⑥ 保健センター【悉皆調査】
- ⑦ 社会教育施設（公民館）【悉皆調査】

3 調査方法

(1) 児童生徒・保護者への抽出調査について

（抽出した有効回答数が1学年で約1500人になるよう各機関に依頼する。）

| | |
|----------|--|
| 市町村立小中学校 | 市町村教育委員会に依頼 各市町村は、小・中学校各1校、1または2学級を抽出 （前回は33市が小・中学校各1校、1学級の抽出 8町村が小学校1校、1学級の抽出 2町村が中学校1校、1学級を抽出） |
| 支援学校 | 支援教育課に依頼 小学部、中学部、高等部から各1校を抽出 （小学部7人、中学部14人、高等部25人） （前回は小学部6人、中学部13人、高等部25人） |
| 国立・私立学校 | 各学校に直接、依頼 小学校1校（国0、私1）、1または2学級を抽出 中学校4校（国0、私4）、1または2学級を抽出 高等学校21校（国1、私20）、1または2学級を抽出 前回は小1校、中4校、高校12校、1学級を抽出） |
| 府立高等学校 | 大阪府高等学校図書館研究会に依頼 27校、1または2学級を抽出 （前回は19校、1学級を抽出） |

抽出された学級で、児童生徒用と保護者用の調査票を配布し、児童生徒は学校で、保護者は家で調査を実施する。

(2) 各関係機関への悉皆調査について

- ① 公立小・中学校、幼稚園、公立図書館、社会教育施設は、各市町村教育委員会の主管課を通じて調査票を送付する。
- ② 保育所・認定こども園は各市町村保育・教育主管課を通じて調査票を送付する。
- ③ 府立学校は、支援教育課、高等学校課と調整したのち、調査票を送付する。
- ④ 国立・私立学校は私学課と調整したのち、調査票を送付する。
- ⑤ 保健センターは健康医療部と調整したのち、調査票を送付する。

4 調査の実施時期

令和元年12月頃～令和2年2月頃

5 調査項目

子ども・保護者の読書に対する意識や習慣と子どもを取り巻く読書に関する環境や府内の学校・市町村図書館等の取組みの相関関係を把握・分析できるように調査項目を設定する。(別紙参照)